

令和8年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、6年生を対象に行われました標記調査につきまして、本校の結果の概要等がまとまりましたので、お知らせいたします。今回の調査において、本校と全国の平均回答率とを比較し、浮かび上がった課題について改善点を考察しました。この結果を受け止め、学校全体で日常の授業改善に生かして参ります。なお、諸調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面であることをご承知おきください。

【教科に関する調査の結果と分析】

〔国 語〕

前田中央小学校の概要

【 学習指導要領の内容 】

◆知識及び技能

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

「情報の扱い方に関する事項」

ともに 全国平均を下回っている。

◆思考力、判断力、表現力等

「話すこと・聞くこと」

「書くこと」

「読むこと」

ともに 全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

- 学年別配当表に示されている漢字を、文の中で正しく使うこと。
- 自分の考えが相手に伝わるように、理由や事例などを挙げたり資料を活用したりしながら、話の構成や表現を工夫すること。
- 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。

改善の方向

- 漢字の学習で、既習の漢字と関連付けて学ぶことや、日常の学習で意識的に漢字を使うことを充実する。
- 相手の考えと自分の考えを比べながら話を聞く（聴く）こと、自分の考えが相手に伝わるように日々の学習の中で書く活動を取り入れながら理由を添えて発言することなどの学習を充実する。
- 日常的に音読の指導を充実し、文章全体の構成を捉えて内容を読み取る学習を充実する。

〔算 数〕

前田中央小学校の概要

【 学習指導要領の領域 】

◆「数と計算」

・全国平均を下回っている。

◆「図形・測定」

・全国平均を下回っている。

◆「変化と関係・データと活用」

・全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

- 百分率で表された割合と比較量から、基準量を求める問題など、「変化と関係」の領域が、特に正答率が低く、無答率が高い結果である。
- 「知識・技能」の観点について（基礎・基本的な問題）の正答率がどの領域においても低い。
- 文章題の意味理解が必要な問題の無答率が高い。

改善の方向

- ◎みんなができる・わかるような 誰一人取り残すことのない指導を心がける
 - みんなで教え合う集団づくりをし、一人一人にあった解き方を指導するなど、基礎・基本の定着を図る。
 - みんなが問題の意味を理解して、自分の考え（答え）をもつことができるような学習を心がける。
- みんなが「問い」をもつような楽しい算数の授業づくりに努める。

【児童質問紙調査の結果と分析】

児童質問紙調査の結果をもとに、子どもたちの「強み」と「課題」を整理いたしました。成果を伸ばし、課題を克服するための本校の取組とご家庭でのご協力についてお知らせします。

【成果・本校の強み】

1. 高いICT活用スキル

- ・プレゼン作成可能：本校 64.6%（全国 44.9%）
- ・文章作成可能：本校 60.0%（全国 49.5%）

※タブレットを文房具として活用できています。

2. おもいやりと優しさ・貢献意欲

- ・地域・社会をよくしたい：本校 87.6%（全国 80.1%）
- ・人の役に立ちたい：本校 98.4%（全国 95.8%）
- ・困っている人を助ける：本校 93.9%（全国 92.7%）

3. 良好な人間関係・安心感

- ・幸せな気持ちになる：本校 95.3%（全国 92.5%）
- ・友達関係に満足：本校 92.3%（全国 91.1%）

【課題・改善点】

1. 教科理解度の低下（特に算数）

- ・算数の授業がよくわかる：本校 58.5%（全国 77.5%）
- ・算数が好き：本校 40.0%（全国 57.6%）
- ・国語の授業がよくわかる：本校 73.9%（全国 81.5%）

2. 家庭学習習慣の不足とメディア過多

- ・平日勉強1時間以上：本校 26.2%（全国 49.9%）
- ・平日勉強全くしない：本校 20.0%（全国 5.7%）
- ・画面視聴3時間以上：本校 52.3%（全国 37.6%）

3. 自己肯定感の伸び悩みといじめの意識

- ・自分に良いところがある：本校 80.0%（全国 85.6%）
- ・いじめはどんな理由があってもだめ：本校 72.3%（全国 81.1%）

改善の方向

本校の取組

- 当番・委員会・日常の思いやり行動に対し、教師から具体的な感謝と称賛を伝えることを心がけ、子どもたちの自己肯定感・自己有用感を高めます。
- 「いじめは絶対許されない」という意識を高めるために、道徳・学級活動等を充実させ、相談しやすい体制を整えます。

学校と家庭で手を取り合いたい2つのこと ～ご協力をお願いします！

- 「画面視聴3時間以上（スクリーンタイム）」を減らすため、就寝前のスマホ・ゲーム等の使用制限をご協力願います。
- 毎日少しでも机に向かった姿や努力したプロセスを温かく認める声かけをお願いします。

ご家庭で今日からできる「3つのサポート」

① 時間と場所を決める

帰宅後や夕食前後など、「毎日机に向かう時間」を固定化し習慣にしましょう。

② 親子でメディアルール作り

「夜〇時以降は共有スペースで充電」「勉強中は画面を見ない」等を話し合しましょう。

③ 努力のプロセスを褒める

結果だけでなく「時間通りに始められたね」「丁寧に書けたね」と認めましょう。